決算特別委員会の審査の状況

（審査の模様は、県議会ホームページの「インターネット中継」でご覧いただけます。）

9月24日に設置された決算特別委員会は、9月定例会で付託された「令和6年度広島県歳入歳出決算認定」及び「令和6年度広島県公営企業決算認定」について、審査を行いました。

9月29日には代表監査委員から「広島県歳入歳出決算審査意見書」等について説明を聴取し、10月14日から10月31日まで7回にわたり部局別審査が行われた後、11月20日には知事の出席のもとで総括審査が行われました。

審査の結果、賛成多数でいずれも認定すべきものと決定され、12月22日の本会議で、その旨報告されました。

☑主な質問事項

☑県庁におけるAIの導入効果については、定量的な評価方法を検討されたい。また、県庁の業務への生成AIのさらなる活用などにより、業務効率化や生産性向上を図られたい。

☑中山間地域の振興に当たっては、第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画の取組を強化するとともに、地域活性化に取り組む市町に対する効果の高い施策を構築されたい。

☑感染症対策については、流行の兆候を早期に察知し、病原性の強い変異株が発生したときでも、県民が安心して治療を受けられる環境づくりに努められたい。

☑難病患者が安心して生きられる地域社会の実現に向けては、医療体制の充実や相談支援体制の確保など難病患者の支援に係る施策の一層の充実を図られたい。

☑栄養塩類対策については、関係府県や市町、漁業関係者と連携を図りながら、栄養塩類管理計画の早期策定に取り組むとともに、海底耕うんなど効果が認められる対策を積極的に実施することにより、本県の水産業が持続可能なものとなるよう引き続き取り組まれたい。

☑「安心▽誇り▽挑戦ひろしまビジョン」の改定においては、本県の農林水産業の全体像を示し、兼業農家や小規模農家が営農を継続できるような支援を行うとともに、中山間地域における農業の将来像を示す必要がある。

☑河川のしゅんせつについては、予算の拡充や対策強化を次期「河川内の堆積土除去計画」に位置づけ、流水の阻害による河川の氾濫防止に向けて取り組まれたい。また、河川の樹木などに対しては、木の根元からの伐採など根本的な解決に向けて取り組まれたい。

☑広島デジフラ構想の推進については、建設分野の担い手不足が深刻化していく中においても必要なインフラの整備や維持管理を着実に進めるとともに、気象災害の激甚化・頻発化に対し県土の強靱化を図っていくため、建設分野におけるAIなどのデジタル技術の活用をより一層推進されたい。

☑学校現場における一人一台端末の運用に当たっては、デジタルとアナログを融合した教育の効果検証を行うとともに、児童生徒の健康面への配慮も踏まえた適切な活用を進めることで、学習の質の向上とめり張りある学びの実現を図られたい。

☑広島叡智学園の運営に当たっては、県内の生徒の学びの機会に十分配慮するとともに、その取組や成果を丁寧に総括し、学びの変革を牽引する学校としての在り方について、県立学校全体との調和にも留意しながら検討を進められたい。

☑大学生等県内就職促進事業においては、学生目線に立った周知方法や、広島出身の学生等を対象とした県内企業の就職に関する情報発信の早期化などにより、東京圏の学生に広島で働くことの魅力を伝え、就職につなげる施策に取り組まれたい。また、インターンシップの実施方法の工夫や、県内企業への就職による奨学金返済免除など複数の施策を効果的に組み合わせることにより、若者の県内就職、定着促進を図られたい。

☑闇バイトにおける犯罪への加担及び特殊詐欺等の被害を防止するための重点的な取組の実施に向けては、予算を拡充し、組織体制を強化されたい。また、SNSやインターネットを利用した犯罪への対応など専門性が求められる業務について人材の確保・育成に取り組むとともに、高度な専門性を有する人材を任期付きで採用する非常勤職員の制度も活用し、体制の構築を図られたい。

一般会計・特別会計決算の状況

（単位:百万円）

区分	一般会計	特別会計	合計
歳入額	1,130,993	574,149	1,705,142
歳出額	1,117,107	559,086	1,676,193
歳入歳出差引額(A)	13,886	15,062	28,948
翌年度へ繰り越すべき財源(B)	9,526	483	10,009
実質収支額(C)＝(A)－(B)	4,361	14,579	18,940
前年度実質収支額(D)	4,908	9,189	14,097
単年度収支額(E)＝(C)－(D)	△547	5,390	4,843

企業会計決算の状況

（単位:百万円）

区分	収入（総収益）	支出（総費用）	純利益
病院事業会計	28,096	29,532	△1,436
土地造成事業会計	69	190	△122
流域下水道事業会計	9,100	9,026	73

※各区分の計数は四捨五入しているため、金額が一致しない場合があります。

委員名簿

16人

委員長　狭戸尾 浩
副委員長　宮崎 康則
副委員長　瀧本 実
委員　犬童 英徳
委員　沖井 純
委員　伊藤 真由美
委員　鷹廣 純
委員　伊藤 英治
委員　坪川 竜大
委員　村上 栄二
委員　神田 隆彦
委員　山下 守
委員　富永 よい子
委員　河村 晃
委員　相澤 孝
委員　上野 寛治

新知事就任にあたって

新たに就任した横田知事が、開会日の12月10日、初めての本会議に臨み、県政に対する基本姿勢について所信を表明しました。その中で、知事は、「本県が直面する課題、そして、県民の皆様の声に真摯に向き合い、新しい時代の要請に応え、県民の皆様が広島県に誇りを持ち続けることができるよう挑戦していく」と述べました。

表彰

自治功労者表彰

全国都道府県議会議長会から、次の議員が自治功労者として表彰されました。

30年以上表彰
中本 隆志（広島市南区／自民議連）

20年以上表彰
沖井 純（江田島市／自民議連）

10年以上表彰
西本 博之（東広島市／民主県政会）
的場 豊（福山市／民主県政会）
出原 昌直（福山市／自民議連）
畑石 顕司（広島市東区／自民議連）
鷹廣 純（広島市安佐南区／民主県政会）

巻頭写真撮影の高校生に感謝状を贈呈

本紙の巻頭写真を撮影した、県立広島井口高等学校の小林俊輔さんに、灰岡香奈広報委員長が議長からの感謝状を贈呈しました。

その後、写真部の活動や写真撮影時のエピソードなどについて懇談しました。

可決された意見書（12月22日議決）

- カキ養殖の事業継続に向けた支援等を求める意見書
- ガソリン税・軽油引取税の暫定税率廃止に伴う安定的な代替財源の確保を求める意見書
- 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書
- 非核三原則の堅持を求める意見書

この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。
ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。
あて先 〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会事務局 政策調査課　TEL 082-513-4743
FAX 082-222-9600　MAIL gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp
VEGETABLE OIL INK

インターネット中継…本会議や委員会の模様をYouTubeで配信しています（ライブ中継・録画中継）。
テレビ広報番組の配信…「ひろしま県議会ダイジェスト」を配信しています。
キッズサイト「みんなの県議会」…県議会の仕組みなどを分かりやすく説明しています。
本会議の傍聴や委員会の視聴、議場の団体見学に関する情報は県議会ホームページをご覧ください。広島県議会 検索